

## 北海道帯広農業高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I <b>グローカル教育で人材を育てる学校</b>	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)資格取得や検定合格を通じた自己肯定感の向上を推進する (2)プロジェクト学習や農業クラブ活動を通じた主体的学びを推進する	(1)日本農業技術検定や各種資格取得を継続的に推進し、昨年度同様に多くの生徒が合格している。 (2)農業クラブ活動を横断的に展開し、主体的な学びの定着や生徒の自己肯定感や学習意欲が向上している。	(1)資格取得に向けた計画的学習のさらなる充実を図るとともに、ICTを活用した学習支援の拡充する。 (2)高大連携や農業クラブ活動をより深め、探究的学びを強化する仕組みづくり。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1)国際交流や研修を通じた多文化理解と視野の拡大を推進する (2)グローバル基準に基づいた農業技術の実践力育成に取り組む	(1)海外農業研修(6名参加)やJICAとの連携による国際交流(4名来校)、農業クラブ活動等での連携を継続し、国際感覚を育成する。 (2)GAP取得後のプロセスを見直し、持続可能な農業経営の理解を深める取組を推進している。	(1)海外研修の機会を増やし、より多様な文化理解を促進する。 (2)GAP取得後の実践的活用を強化し、持続可能な農業モデルを確立する。	4
II <b>地域社会・産業に寄与する学校</b>	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域農業の担い手育成を目的とした生産技術の習得を推進する (2)衛生・安全管理を重視した農業経営の学習に取り組む	(1)新規就農プログラムや産業界との連携による実践的な授業を継続し、知識・技術の習得が定着している。 (2)JGAPやHACCPを授業に組み込み、衛生意識と倫理観を強化している。	(1)地域農家や産業界との連携をさらに広げ、教育の質を向上させる。 (2)HACCP等の実践的理 解を深めるための教材整備を行う。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)地域の特産品を活かした6次産業化の推進に取り組む (2)地元企業や関係機関との連携による商品開発力の育成を推進する	(1)生産から販売までの一貫した学習を継続し、地域ブランドづくりに貢献している。 (2)産業界との連携を強化し、継続的な商品開発と小売店での販売実践を推進している。	(1)商品開発の高度化とマーケティング力の育成をしていく。 (2)小売店販売の継続体制とICT活用による販促強化をしていく。	5
III <b>地球環境を守り創造する学校</b>	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)環境にやさしい農業技術と資源循環の理解を推進する (2)持続可能な地域づくりに貢献する実践的な環境学習に取り組む	(1)家畜排せつ物を活用した堆肥づくりを推進し、循環型農業を実践している。 (2)GAP管理を通じて環境負荷を減らす農業手法を継続的に学習している。	(1)施設設備の維持管理と効率化を図る。 (2)環境教育の体系化と意識付け強化を推進する。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)地域の森林や農場を活用した教育活動を推進する (2)地元との連携を通じた農業イベントや講師を招いた特別授業に取り組む	(1)学校林の伐採から販売、再造林までの流れを学び、地域林業に貢献している。 (2)地域イベントや特別授業を通じて食農教育を展開している。	(1)ICTを活用した林業教育の充実を図る。 (2)地域イベントの継続体制整備を図る。	4
IV <b>地域交流の拠点となる学校</b>	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)ICTやスマート農業機器を活用した農林業教育を推進する (2)地域課題の解決に向けたプロジェクト型学習を推進する	(1)温度管理システムや牛群管理システムを活用し、リスク管理を実践をしている。 (2)林業機械やGPS技術を活用した省力化・効率化の実習を継続している。	(1)ICT活用の高度化とデータ分析力の育成を図る。 (2)産業界と連携しスマート農業の推進と機器の導入拡大を図る。	4
V <b>地域防災を推進する学校</b>	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)災害に強い農業・林業の実践を推進する (2)防災意識と危機管理能力の向上に取り組む	(1)演習林を活用し、都市部における安全な森づくりを実践。スマート技術を利用して風雪害に強い森林づくりを推進し、災害に強い林業モデルの取組。 (2)危機管理マニュアルを活用し、防災訓練を全校で実施。	(1)防災教育の体系化と地域連携強化。 (2)災害時対応設備の確認とスマート技術のさらなる活用の検討をしていく。	4